

桜井民報

編集・発行：日本共産党桜井市委員会
連絡先：桜井市栗殿588-7
吉田ただお事務所
☎/FAX：0744-46-4930
HP：[日本共産党市会議員吉田忠雄](#)



吉田ただお 6月議会報告 2018年 7月号 No. 69号

桜井市清掃公社の経営安定にどのような努力をしたのか

市長は昨年6月定例議会で、公社の収益の増加及び経費の節減等により経営の安定化を図っていききたいと答弁されたが、具体的にどのような努力をされたのか。

吉田議員



桜井市清掃公社

収入の減少は
思い切った経費の削減を

浄化槽微増

くみ取り戸数減

西日本を中心とした記録的な豪雨で、亡くなられた方にお悔やみ申し上げ、被災者の方々にお見舞いを申し上げます。

桜井市第2回定例会（6月議会）が6月11日から28日までの18日間の日程でおこなわれました。吉田ただお議員は一般質問で、桜井市清掃公社、桜井市総合福祉センター「竜吟荘」、住宅リフォーム助成制度の3点について市長をたどしました。

一昨年度より
一千万円以上の
経費を使っている
計算になっている

吉田議員

今議会に清掃公社の

松井市長

一般家庭のくみ取り人数・戸数については減少傾向にあるが、浄化槽の清掃基数については増加傾向にある。浄化槽の新規設置者には清掃のお願いチラシをポスティングするなど、新規利用者の増加を図り、公社運営安定のため収益の確保に努めている。

平成28年度一般会計（歳入）決算書	
項目（節）	金額
し尿処理手数料	5,932万5,590円
浄化槽清掃手数料	1億662万1,090円
合計	1億6,594万6,680円

経営状況説明書が提出されている。公社の会計方式については業務から利益が生じない実費弁償方式を採用している。実際の収入・支出がわかりにくいのが、平成28年度の歳入歳出一般会計決算書では、一般会計決算書では、し尿処理手数料と浄化槽清掃手数料の合計で約1億6千5百万円の

6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨災害と自然災害とそれに関連する人災ともいえる悲惨な事故で命をおとす事例が多く発生しました。

吉田ただお議員は市民団体の方と共に、「中学校道徳教科書採択に関わる要望」のうちに、市内の小中学校でのブロック塀の安全点

検について教育長と面談しました。市内15小中学校の内、ブロック塀は小学校2校、中学校1校で、教育委員会として「安全」確認をしたとのことでした。

また、通学路にもなっている市役所北側のブロック塀は、早急に撤去する工事を行っています。



ブルーシートがかけられた市役所北側の塀



今年、市立図書館（6月29日～7月25日）で「ノーマア ヒロ シマ・ナガサキ原」の爆弾パネル展がありました。子どもさんにも説明していただくのが印象的でした。

松井市長

今後も費用を一層点検して削減に努めるとともに、収益の確保に努めたい。

経営収入（営業収入）に対して、経常経費が1億6千百万円で経常収入から経常費用を差し引くと約400万円の黒字（営業収益）となっている。しかし、平成29年度の経常経費は28年度と比較すると1千万円以上増えている。公社の経営の安定のためにも、人人体制の在り方も含めて具体的な経費の見直しが必要ではないか。

平成28年度経常費用		平成29年度経常費用	
事業費	1億1,606万8,674円	事業費	1億2,337万1,398円
管理費	4,558万1,682円	管理費	4,972万7,645円
合計	1億6,165万356円	合計	1億7,309万9,043円
		増減額	△1,144万8,687円

桜井市総合福祉センター「竜吟荘」 利用者の要望実る

吉田議員の質問 で実現

吉田議員

桜井市総合福祉センター「竜吟荘」は、今年4月から高齢者にか

かわらず市内・市外の方も利用できるよう条例が改正されたが、利用者の9割以上が60歳以上のお年寄りである。

玄関で靴を脱いでスリッパに履き替えるが、

松井市長

施設内を移動するときスリッパが脱げて、つまずいたりすることもある。土足履きで上がるようにしてほしいという要望が出されているが、どのように考えるか。

吉田議員

議員が指摘の声は聞いている。指定管理者とも協議をおこない、施設内における土足での利用が可能などところについては具体化を図っていききたい。

福一総合福祉センター「竜吟荘」



米朝首脳会談を平和の転換点に

6月12日、北朝鮮と米国による歴史上初めての首脳会談がおこなわれました。

質問 今回の米朝首脳会談について、どのように考えていますか。

吉田ただお議員

朝鮮戦争以来、70年近く軍事的に対立していた米国と北朝鮮のトップが会談し、対等な立場で交渉をスタートさせたことは大きな成果です。

質問 両首脳が署名した「合意内容」に

ついては、どう考えますか。

吉田ただお議員

合意内容は2つあります。1つは、北朝鮮の「完全な非核化」の意思と、米国による「（北朝鮮の）安全の保障」です。もう1つは、朝鮮半島における「持続的で強固な平和体制」の構築に向けた合意です。

住宅リフォーム助成制度の早期実施を 費用の一部補助で、業者も地域も活性化

吉田議員

昨今の深刻な経済危機のもとで、失業や倒産が相次いでいる。特に建設不況と言われる事態で、中小零細建設業者の廃業が著しい。桜井市が元気であるためには、地域産業を活性化させる必要があるが、市として中小零細業者を応援する取り組みをおこなっているのか。

松井市長

桜井市の事業者数は平成26年7月1日現在において2,584社であり第1次産業は7社、第2次産業は56社、第3次産業は2,012社となっており、

そのほとんどが中小零細企業である。

議員が尋ねている建設業に係る中小零細業者にに対し応援する取り組みの1つとして、桜井市出納課において実施している小規模修繕登録に35社登録しており、公共施設の小規模修繕等に積極的に活か



吉田議員

市民が市内の中小建設業者を使って住宅のリフォームを行う際に、工事費の一定割合に当たる助成金を支給する住宅リフォーム助成制度があるが、中小業者の仕事の確保や地域経済の活性化対策として有効である。

この制度について松井市長はどのように考えるか。

松井市長

地元業者による住宅

リフォーム助成制度は、地域経済活性化の1つであると考えているが。

吉田議員

広陵町では平成17年度から町内の住宅リフォーム登録業者で施工する20万円以上のリフォーム工事に対して、税抜き価格の10%、最大10万円を限度として補助をしている。

桜井市でも住宅リフォーム制度を実施してはどうか。

松井市長

慎重に検討していきたい。

生活相談は どうぞこちらへ

桜井市市議会議員吉田ただお事務所
桜井市栗殿588-7
電話・FAX

46-4930

必ず、電話してからお越し下さい

LOVE9条

あなたも

3千万人
署名を

ストップ!
安倍改憲